第18回岐阜県移動美術館

「川崎小虎展～暖かみあふれる自然の詩情～」

（1）趣旨

岐阜県美術館は、1982年の開館以来、県民の文化芸術創造の拠点として広く親しまれています。館にはさまざまなコレクションがありますが、その一つに日本を代表する地域ゆかりの作家の作品があります。

今回の展覧会では、その収蔵品の中から近代日本を代表する日本画家・川崎小虎（かわさきしょうこ）の作品を紹介しました。

絶えず日本画壇の先端で活躍し、描くこと一筋に生きぬいた川崎小虎。本展では、淡々として謙虚でありながら、いつも新しい感覚を大事にし、自然や何げない身辺の情景に暖かい愛情を注ぎ続けた小虎の作品を通し、その足跡をたどりました。

（2）会期　　2002（平成14）年2月9日（土）～3月24日（日）
　　開催日数37日間

（3）観覧料　　一般500円（350円）、小中学校250円（150円）
　　（　）は20名以上団体料金および、かるちすとくらぶ料金

（4）会場　　企画展示室、美術工芸展示室

（5）展示点数　　岐阜県美術館所蔵の川崎小虎作品49点ほか

（6）関連事業

①講演会「小虎芸術を探る」
（2002年2月10日　14:00～15:30／会場：緑のホール）
講師：平光明彦氏　（岐阜県美術館　館長）

②移動ハイビジョンギャラリー
（2002年3月2日～3月10日　10:00～16:00／会場：エントランスホール）

③特別展示「東山魁夷スケッチ展」
（2002年年2月9日～2月17日／
会場：展示ホール）

（7）図録

『第18回岐阜県移動美術館　川崎小虎展～
暖かみあふれる自然の詩情～』
A4変形板　36頁